

パンフレット作成しました!

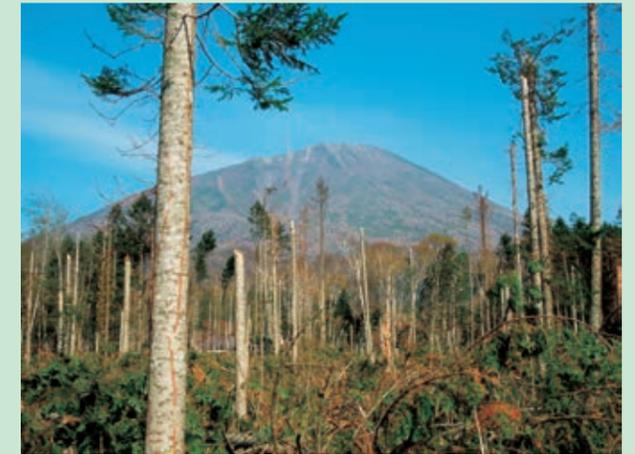
# 風倒害に強い森づくりの指針

WEB 閲覧版 <https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/kanko/fukyu/pdf/fuutou2.pdf>  
A4 印刷版 <https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/kanko/fukyu/pdf/fuutou1.pdf>

近年北海道には、森林風倒害をもたらすような台風が多く上陸するようになりました。このため林業試験場では、森林経営者、および市町村・北海道・国の森林管理部門の皆様を対象に、**風倒害に強い森づくりの指針**を作成いたしました。今後の森林施業の参考にしてください。パンフレットは、十勝地方をモデルケースとして作成しています。(環境 G 阿部友幸・経営 G 滝谷美香)

冊子体の請求はこちら 道総研森林研究本部 林業試験場 森林環境部 環境グループ TEL 0126-63-4164

森林風倒害の現場



真狩村 2015年10月19日



風倒害に強い森づくりでは「地形」と「森林施業」の二つに着目します



図-1 風倒害に強い森づくりの手順

風倒害が起きやすい地形を明らかにするために、地図情報を用いた解析を行いました。

必要なデータは、風倒害発生個所の実績と、地形因子である斜面方位・傾斜角、露出度(見晴らしの良さの指標)です。

十勝地方の場合、過去風倒害を起こした原因のほとんどが台風であり、それらの風向は南東付近に集中しました。

十勝地方以外についても、今後同様の手法によって風倒害が起きやすい地形を明らかにしていきます。

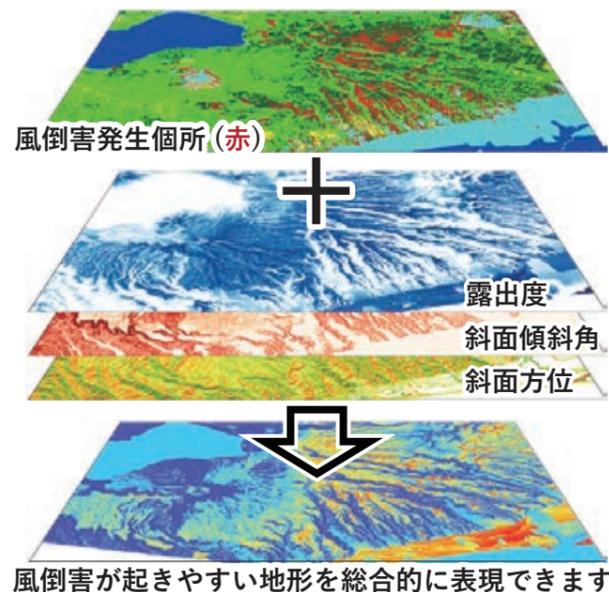


図-2 風倒害が起きやすい地形を明らかにする手順

この図は、風倒害を低減する森林施業方法を示しています。従来通りの密度で苗木を植栽した後、どのタイミングで、どのくらいの強度で間伐すれば良いかを示しています(赤線:修正間伐)。

この結果、耐風性がどの程度改善されるかについて、パンフレットに詳細を記載しています。

トドマツ林の例もパンフレットにありますのでご覧ください。

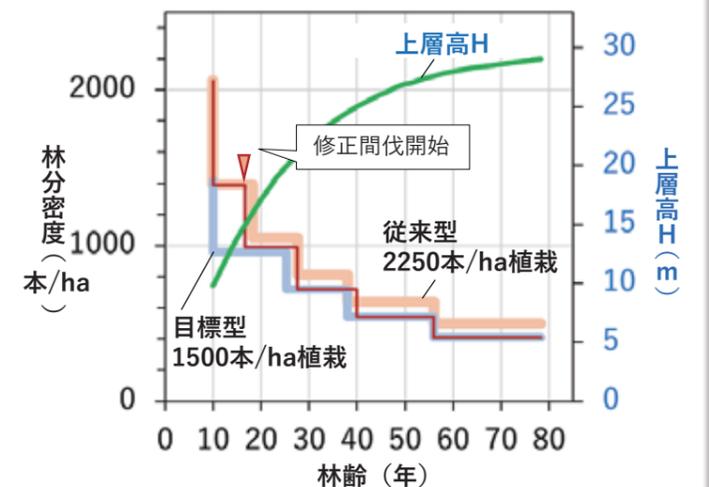


図-3 風倒害を低減する森林施業 -カラマツ林を例に-